

タイトル	研究成果を地域に普及し実践力を育成
名称(学校・地域)	長野県下高井農林高等学校
日時・場所等	通年の教育活動
HPアドレス	http://www.nagano-c.ed.jp/nourinn/



since 明治39年(1906年)

**専門知識・技術の地域への普及と実践の場を通じた専門力の向上！
地域連携や地域の技術伝承を通して、生徒のやる気を引き出します！**

本校では、授業で学んだ専門知識・技術を活かし、地域課題を解決し普及する探究的な学習に力を入れています。これまでの主な取り組みは、学校近隣の特別養護老人ホームでの大豆栽培やきな粉への加工による福祉交流、小沼帯の技術伝承、地元にある温泉の水車復活、廃材を活用した箸づくり、熊の出没防止を目的として柿を収穫する「シブガキ応援隊」、農林高校で収穫された地元食材を活用した学校給食のレシピ考案、地元の研究会と連携したそば打ち研究、国際研究クラブの国際協力活動等数多く挙げられます。生徒達は専門性を競い合うことで、学習の質を高め、技術の向上に努めています。また、数多くの資格取得にも積極的に取り組み、基礎学力や実践力を身に付けています。

さらに、各種大会やコンクールにも積極的にチャレンジしており、3年連続で「全国高校生そば打ち選手権大会」に出場したそば班は、**2度敢闘賞**を受賞しました。また、長野県学校農業クラブ連盟各種県大会でも平板測量競技と意見発表で**優秀賞**に輝き、フラワーアレンジメント競技では、2年連続で全国産業教育フェア秋田及び山口大会への出場を果たしました。



＜農林ケチャップ＞



＜農業鑑定競技＞



＜資格取得(ホイールローダ)＞



＜全国高校生そば打ち大会＞

**基礎学力の定着と探究学習の基礎になるカリキュラム！
「わかる」を実感する学校設定科目＝「カルチベーション」**

1年次に週3時間、生徒一人ひとりに応じてこれまでの学習内容でつまづいた段階まで立ち戻り、そこから学び直しをする基礎教養科目です。

内容は担当教員2名によるチーム・ティーチング形式のドリル学習(国語・数学・英語・理科・社会分野)です。理解できなかつた箇所を質問できるので、中学生の時につまづいた教科があっても取り戻すことができます。生徒の自己肯定感を高め、高校での授業へのスムーズな移行を目指しています。この基礎教養科目の学習が、2、3年次の専門教科科目の学習や資格取得、課題研究を通じた探究活動に大いに役立ちます。



＜課題研究発表会＞

**雪深い北信州ならではのクラブ活動！
伝統あるスキー部が、3年連続でインターハイへ出場！**

本校は、第1回の全国高等学校スキー大会を制した伝統校です。長い歴史の中でスキー部は数々の実績を重ね、オリンピックやワールドカップに多くの優秀な選手を輩出してきました。ここ数年は、スキー部の活躍も影を潜めていましたが、徐々に復活し、アルペン・クロスカントリー競技でインターハイや全国高等学校選抜スキー大会へ出場し活躍しています。伝統校として、スキー部がさらに活躍してくれることを期待しています。

